

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【公開番号】特開 2019-9695 (P2019-9695A)

【公開日】平成 31 年 1 月 17 日 (2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-002

【出願番号】特願 2017-125589 (P2017-125589)

【国際特許分類】

H 0 4 W 4/48 (2018.01)

H 0 4 W 84/10 (2009.01)

H 0 4 W 88/04 (2009.01)

H 0 4 W 4/38 (2018.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 W 4/04 1 1 5

H 0 4 W 84/10 1 1 0

H 0 4 W 88/04

H 0 4 W 4/04 1 9 0

H 0 4 M 1/00 U

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 22 日 (2020.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Bluetooth の規格に準拠した通信方式を用いて、セントラル装置として機能して第 1 のピコネットに接続するとともに、ペリフェラル装置として機能して第 2 のピコネットに接続することが可能な通信装置であって、

前記第 1 のピコネットにおいてペリフェラル装置として機能する第 1 の装置から、当該第 1 の装置がサポートするサービスを識別する情報および当該サービスに関するデータを受信する第 1 の通信手段と、

前記第 2 のピコネットにおいてセントラル装置として機能する第 2 の装置に、前記サービスを識別する情報および当該サービスに関するデータを、Bluetooth の規格に準拠したアドバタイジングパケットを用いて送信する第 2 の通信手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記第 2 の通信手段は、前記第 2 の装置からサービスを検索するための要求を受信した場合、前記サービスを識別する情報を送信することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記第 2 の通信手段は、所定のタイミング毎に、前記サービスを識別する情報を送信することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記第 2 の通信手段は、前記サービスを識別する情報と併せて、前記通信装置がサポートするサービスを識別する情報を前記第 2 の装置に送信することを特徴とする請求項 1 か

ら 3 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記サービスに関するデータは、前記第 1 の通信手段が前記第 1 の装置へサービスを検索するための要求を送信することに応じて前記第 1 の装置から受信される応答に含まれることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記第 1 の装置は、所定の対象をセンシングする機能を有する装置であり、前記サービスに関するデータは、前記第 1 の装置によりセンシングされた測定データであることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記第 2 の装置に送信するためのデータを前記サービスに関するデータに更新する制御手段を更に有し、

前記第 2 の通信手段は、前記更新されたデータを前記第 2 の装置に送信することを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記サービスを識別する情報は、UUID (Universally Unique Identifier) を含むことを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 9】

Bluetoothの規格に準拠した通信方式を用いて、セントラル装置として機能して第 1 のピコネットに接続するとともに、ペリフェラル装置として機能して第 2 のピコネットに接続することが可能な通信装置の制御方法であって、

前記第 1 のピコネットにおいてペリフェラル装置として機能する第 1 の装置から、当該第 1 の装置がサポートするサービスを識別する情報および当該サービスに関するデータを受信する受信工程と、

前記第 2 のピコネットにおいてセントラル装置として機能する第 2 の装置に、前記サービスを識別する情報および当該サービスに関するデータを、Bluetoothの規格に準拠したアダプタイジングパケットを用いて送信する送信工程と、
を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 10】

コンピュータを、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の通信装置として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するための一手段として、本発明の通信装置は以下の構成を有する。すなわち、Bluetoothの規格に準拠した通信方式を用いて、セントラル装置として機能して第 1 のピコネットに接続するとともに、ペリフェラル装置として機能して第 2 のピコネットに接続することが可能な通信装置であって、前記第 1 のピコネットにおいてペリフェラル装置として機能する第 1 の装置から、当該第 1 の装置がサポートするサービスを識別する情報および当該サービスに関するデータを受信する第 1 の通信手段と、前記第 2 のピコネットにおいてセントラル装置として機能する第 2 の装置に、前記サービスを識別する情報および当該サービスに関するデータを、Bluetoothの規格に準拠したアダプタイジングパケットを用いて送信する第 2 の通信手段と、を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 0 】

図 7 は、本実施形態におけるセンシング情報収集システムのデータフローを示す模式図である。モバイル情報通信装置としてのスマートフォン 1 0 2 は、センシング装置としてのウェアラブルカメラ 1 0 1 と、Bluetooth通信路を介して接続する。そして、スマートフォン 1 0 2 は、カメラリモートコントロールサービス (Camera Remote Service 7 1 1、7 1 2) を提供している。また、スマートフォン 1 0 2 は、センシング装置としての心拍計 1 0 4 と、Bluetooth通信路を介して接続し、ヘルスケア情報ロギングサービス (以下、ヘルスケアサービス) (Health Care Service 7 2 1、7 2 2) を提供している。ここで、車載情報通信装置 1 0 3 は、ユーザが装着中の心拍計 1 0 4 からバイタル情報を収集するためのヘルスケアサービスを必要としているものとする。また、同時に、車載情報通信装置 1 0 3 は、と、緊急事態発生時にユーザのウェアラブルカメラの撮影情報の上書きをプロテクトするためのカメラリモートコントロールサービスを必要としているものとする。